

活動区分	高業活性化型	連携先	企業

～ I-1グランプリ ～

活動の様子



取り組む課題

スポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を考える。特に、収益構造(ビジネスモデル)の確立、企業PR(社会貢献活動)の促進、デジタル技術の活用という観点から、アイデアを出す。



本学(学生)の役割

テーマに沿って約3ヶ月間、参加者同士で協力しあいながら調査・研究を行い、企業への提案を考える。そして、年末のプレゼンテーション会で企業に提案を行う。

企画・活動概要

研究演習Iのメンバーで、2023年度I-1グランプリ「シューズ市場における新たな価値創出ースポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を考えよう！」というテーマに取り組んだ。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

残念ながら受賞はできなかったが、ゼミ生同士の横のつながりが強化され、各学生のコミュニケーション能力が向上した。また、企業の方や他大学の学生と接することにより、より高度なパワーポイントの作成能力やプレゼンテーション能力を獲得できた。



経緯・背景・目的

「神戸学生イノベーターズ・グランプリ (I-1グランプリ)」は、「社会に新しい価値をもたらす変革(イノベーション)をおこす知恵を備えた人材育成を目的とする」と本学では位置付けられている。企業の方々にも直接審査頂くことで、学生一人一人の成長が期待されることから、参加することにした。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



経済学部
経済学科
准教授
丸山 亜希子 (マルヤマ アキコ)

<専門・担当科目等>
労働経済学、応用ミクロ経済学

<関係者・企業等>